

## オリックスグループ「環境レポート 2011-2012」 カーボン・ディスクロージャー (P.33) の算定方法

### 1. オリックスグループにおける CO<sub>2</sub> 排出量の算定方法

2011 年 3 月期のオリックスグループの業務活動・事業活動による CO<sub>2</sub> 排出量 434,000t-CO<sub>2</sub> 算定は以下の通りです。

#### 【算定範囲】

業務活動: オリックスグループの事業所のうち、エネルギー使用データが取得できた 147 拠点(前期 136 拠点)の業務活動に起因する電力消費などによる排出、およびグループ社員が使用した営業車両 1,565 台(前期 1,607 台)の運行から消費したガソリンによる排出

不動産: 不動産事業で所有・運営するオフィスビル、ゴルフ場、ホテル、研修施設、野球場、水族館など 277 施設(前期 236 施設)における、テナントがエネルギー管理権原を有する部分を除く排出

自動車: 直営店のレンタカーの利用による排出、および直営 105 店舗(前期 124 店舗)の業務活動に起因する電力消費などによる排出(カーシェアリングの利用に伴う CO<sub>2</sub> 排出量 1,101t-CO<sub>2</sub> はカーボン・オフセット済)

機器: オリックス・レンテックのレンタル物件輸送に伴う排出、および技術センターなど 3 カ所の電力消費などによる排出

環境: 廃棄物処理施設 2 カ所と発電施設 1 カ所における排出

#### 【算定方法】

CO<sub>2</sub> 排出量は、「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」に基づいて算定

### 2. オリックスグループのエコサービスにより削減されたお客さまの CO<sub>2</sub> 排出量の算定方法

2011 年 3 月期のオリックスグループのエコサービスにより削減されたお客さまの CO<sub>2</sub> 排出量 200,300t-CO<sub>2</sub> 算定は以下の通りです。

#### 【算定範囲】

オリックスグループが 2011 年 3 月期にご提供したエコサービスのうち、サービスご利用のお客さまの CO<sub>2</sub> 削減量の算定が可能な 7 事業について記載

#### 【算定方法】

ESCO 事業: ESCO 契約のうち、CO<sub>2</sub> 削減量が把握可能な契約の CO<sub>2</sub> 削減量を計上

カーボン・クレジット販売: 販売実数

カーシェアリング: 交通エコロジー・モビリティ財団 2006 年調査報告「カーシェアリングによる環境負荷低減効果及び普及方策検討報告書」より、マイカーからカーシェアリングに切り替えた場合の CO<sub>2</sub> 削減効果 = 「1.89t-CO<sub>2</sub>/年・人」による

レンタカー：オリックスレンタカーの直営店で使用されたハイブリッド車の CO<sub>2</sub> 排出量(カタログ値)と、比較可能な同クラスのカソリンエンジン車の CO<sub>2</sub> 排出量(カタログ値)の差分に、ハイブリッド車の走行距離を乗じて算出

環境配慮型不動産開発：環境配慮型ビルの評価結果による運用時のエネルギーにかかる CO<sub>2</sub> 排出量の原単位と、一般的なビルの運用時のエネルギーにかかる CO<sub>2</sub> 排出量の原単位の差分に、延床面積を乗じて算出

太陽光発電システム：太陽光協会の 2010 年度の「表示に関する業界自主ルール」の太陽光発電システムの CO<sub>2</sub> 削減効果=「334g-CO<sub>2</sub>/kWh」に、発電量を乗じて算出

バイオマス発電事業：環境省の 2009 年度の電気事業者ごとの実排出係数・調整後排出係数などの公表の代替値=「0.000561t-CO<sub>2</sub>/kWh」に、発電量を乗じて算出